

## メディカル&グラフィック事業

### 2010年3月期の業績概要

デジタル機器の販売拡大に努めるとともに、ソリューションビジネスの強化にも注力しましたが、ヘルスケア分野、印刷分野とも加速度的に進行するフィルム製品の販売減少を補うことができず、円高の影響も加わり、売上高は前期比17.1%減少の1,043億円、営業利益は、固定費削減の取り組みを徹底しましたが、前期比52.3%減少の14億円となりました。

### 各分野の状況

#### ヘルスケア分野

主力のデジタルX線画像診断領域では、新製品「REGIUS (レジウス) MODEL 210」の販売を開始し、DR (Digital Radiography) 機器や画像診断ワークステーションなどとともに、国内外の医療施設に向けて販売拡大に努めました。これらデジタル機器の販売台数は、概ね前期並みの水準を確保することができました。また、ネットワーク機器では「I-PACS EX ceed (アイパックス エグザシード)」、カラー超音波診断装置では「SONIMAGE (ソニマージュ) 513」と、X線画像診断以外の領域でも新製品を投入し、当分野における業容拡大に取り組みました。

#### 印刷分野

オンデマンド印刷機「Pagemaster Pro (ページマスター プロ) 6500N」など、デジタル機器の販売拡大に取り組みました。印刷業界においては、長引く景気低迷の影響で設備投資の冷え込みが続いていますが、販売拡大に努めたことにより、デジタル機器の販売は前期並みの水準を確保しました。

### 今後の戦略

ヘルスケア分野では、フィルム製品の需要が今後も減少することが見込まれる中、画像診断デジタルシステムの拡販に加え、リモート保守や経営支援およびネットワークサービスを組み合わせたサービス商品「infomity (インフォミティ)」を積極的に展開することにより、新たな事業領域の拡大を図っていきます。

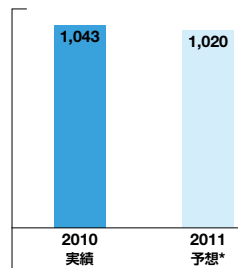
新興国市場については、当面は中国とインドにターゲットを絞り、市場ニーズにマッチしたデジタルシステムの販売拡大を図っていきます。

印刷分野では、商業印刷における顧客ニーズやワークフローなどの知見を活用し、グループが成長分野と位置づけるプロダクションプリント分野の一層の競争力強化と業容拡大を実現していきます\*。

\* 2010年10月1日付けでコニカミノルタエムジー株式会社が管轄する印刷関連事業を切り出し、コニカミノルタビジネステクノロジーズ株式会社に移管することを決定しています。

#### 売上高

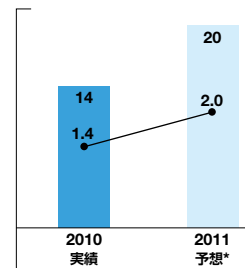
(億円)



\* 予想: 2010年5月13日公表

#### 営業利益 / 営業利益率

(億円 / %)



■ 営業利益  
— 営業利益率



デジタルX線画像読取装置  
「REGIUS MODEL 210」



デジタルX線画像撮影装置  
「PLAUDR C30」



カラー超音波画像診断装置  
「SONIMAGE 513」



オンデマンド印刷機  
「Pagemaster Pro 6500N」